

若き力 健やかに

中野区立第五中学校
第3学年学年便り
保護者版
2012年 3月16日

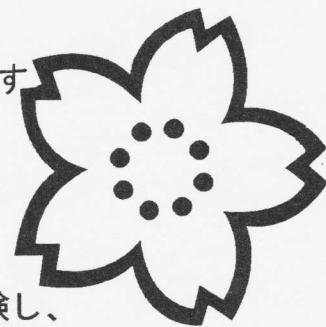
第3学年の保護者の皆様方へ！

ご卒業おめでとうございます。 ございます。



3年間の心からの感謝を込めて！

本日、「中野区立第五中学校 第65回卒業式」を無事迎えることが出来たことを、心からお喜び申し上げます。本当におめでとうございます。小学校6年間、中学校3年間の義務教育の課程も本日で、終了します。今日、3年生の97名は、中野第五中学校巣立ち、高等学校教育への道を歩み始めます。この五中での3年間の日々が、大きな力となり次の3年間を過ごしていく力となることを祈るばかりです。



思い起こせば、3年前の4月7日の入学式から、本当に多くの事を経験し、3年生一人一人が、壁にぶつかり苦しみながらも、保護者の方々や友達、五中の先生方の力を借りて、心を大きく成長させてきました。

思春期の自己葛藤の中、子ども達は反抗期も迎え、保護者の方々にぶつかったり、悩んだり、考え込むことも多くあったと思います。それをここまで育て、導いてきたのは、五中の先生方の努力だけでなく、保護者の方々のご協力、ご支援があったからこそと、心から感謝しています。

特に3年生になり、進路決定の時期を迎え、何度も学校に足を運んでいただき、何度も面談をして、何度も担任と話をしていた、保護者の方々のご協力には、感謝以外の言葉がありません。志望校と現実の狭間で苦しみ、希望通りにいかない中で、悩み苦しんだ子ども達もたくさんいました。それでも進路を決定しなければならない現実がありました。そこで、保護者の方々が何度も子ども達と話し合い、進路を決定していった過程には、並々ならぬつらさがあったと思います。そして、年が明けて入試が始まり、都立推薦受検では、多くの子ども達が希望通りの結果が得られず、辛い思いをしました。私立一般受検では、何校も掛け持ちを受検をして、大変な思いをした子ども達がありました。都立の1次受検でも都立高校を第一志望にしながら、希望が叶わなかった子ども達もいました。受検という辛い、厳しい壁に直面した時期でもありました。その辛い壁を今乗り越えて、今日の卒業式を迎えます。そこには、受検という壁を乗り越えてきた、力強い子ども達の姿があります。その姿を、今日の卒業式で確かめていただきたいと思います。本日、お渡しした封筒には、「家族への手紙」が入っています。是非一読していただきたいと思います。

卒業アルバムと卒業文集は、本日の卒業式の写真も入れて後日、郵送させていただきます。楽しみに待っていただければと思います。19日の卒業を祝う会で、また、ご挨拶が出来たらと考えています。最後になりますが、3年間本当にありがとうございました。また、3年もの間、誤字脱字の多い学年便りをご愛読いただき心から感謝しております。また、どこかでお会いしたら、子ども達の様子を聞かせてください。楽しみにしています。

